令和4年度 学校評価 ~学校アンケート結果より~

岐阜特別支援学校

小学部

■A ■B ■C ■D

個に応じた 学習 1 楽しい学校生活 個に応じた意図的な授業 一人一人に合った教材・教具 2 2 次年度への引継ぎ 2 豊かな心 心身の健康管理(コロナ含)と適切な対応 一人一人を大切にした職員のかかわり方 2 体力向上に向けた活動の工夫 食の安全への配慮と適切な対応 安心・安全 22 コロナ対応を含めた衛生管理 学校安全への配慮と緊急時の対応 校舎内の整理整頓と配慮された環境 通学の安全に関する配慮や具体的な指導 様々な活動の様子の発信 開かれた学校 家庭や医療機関等との連携による支援 コロナ禍での学校行事等のもち方 福祉や進路等に関する情報提供

小学部学校評価考察

1高評価を得た内容

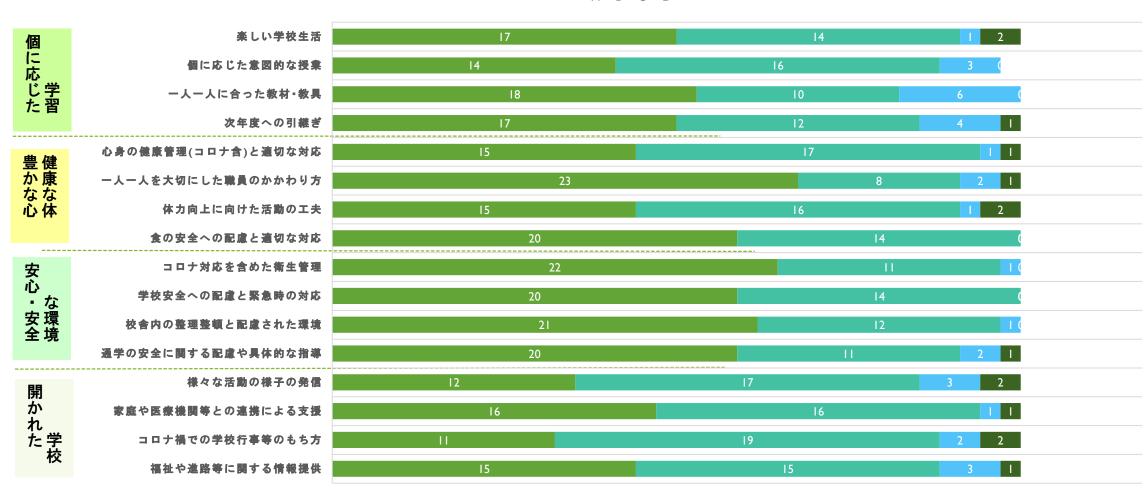
- ・2つの項目で89%、その他は全て90%以上の評価を得ている。
- 「コロナ対応を含めた衛生管理や、食や校内の安全への配慮など適切な対応に関わる」項目での評価が高く、今後も子どもたちが安心・安全に学校生活を送ることができるよう継続したい。
- ・「コロナ禍での学校行事のもち方や体力向上に向けた活動」の評価が高い。コロナ禍ではあるが、子どもたちが充実感や達成感を味わうことができる活動になるように工夫したことが高評価という結果に結びついたと考えられる。

②課題とすべき内容

- 「通学の安全に関する配慮や具体的な指導」への評価が低い。スクールバス利用時の安全指導やバス内の様子を保護者に具体的に伝え、保護者が安心して子どもたちを送り出してくださるよう努めていく。
- 「福祉や進路等に関する情報提供」への評価が低い。小学部ではあるが、保護者は福祉や進路等に関する情報を必要であると感じているため、小学部の学習・生活がどのように就労や進路につながるのかも含めて保護者への発信の方法を工夫したい。

中学部

■A ■B ■C ■D



中学部学校評価の考察

①高評価を得た内容

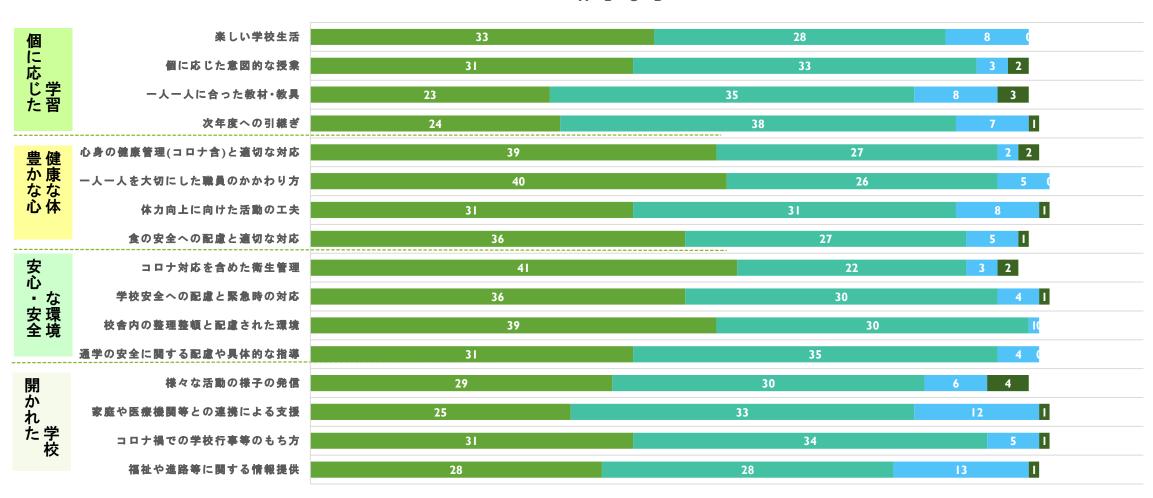
- ・豊かな心と健康な体(心身の健康管理・食への安全配慮)や安心・安全な環境(コロナウィルスへの対策・緊急時の対応・整理整頓された環境づくり)開かれた学校(家庭や医療機関との連携)について、よい評価を得ている。また、豊かな心と健康な体の全項目と安心・安全な環境の全項目はすべて90%以上のよい評価を得ている。
- ・食への安全配慮や緊急時の対応について100%の結果を得ており、安心して我が子を学校へ通わせているという保護者の意識が高評価という結果に結びついたと考えられる。

②課題とすべき内容

- ・楽しい学校生活、体力向上に向けた活動の工夫、様々な活動の様子、コロナ禍での学校行事等の持ち方でD評価の方が2名ずつあった。コロナ禍において、体力を存分に発揮する活動が実施できなかったことが大きく影響していると考えられる。次年度は朝運動の充実をめざし、継続的な活動を組み入れ生徒の基礎体力の向上を図っていく。
- ・学年通信、学校通信は定期的な発行を継続し、生徒の活動の様子が具体的に伝わるように内容を工夫しながら開かれた学校であるように情報発信していく。

高等部

■A ■B ■C ■D



高等部学校評価の考察

1高評価を得た内容

- ・学校安全への配慮や対応(整理整頓された環境づくり・緊急時の対応・食への安全配慮、通学指導等)やコロナ対応を含めた衛生管理、心身の健康管理について、よい評価を得ている。
- ・職員の生徒たちへのかかわり、個に応じた授業について、90%以上のよい評価を得ている。
- ・学校の安全への配慮や対応、健康管理、一人一人への適切な支援について、信頼し安心して我が子を送り出して くれている。引き続き生徒にとって安心・安全な学校づくり、一人一人のよさを引き出す支援に努めていきたい。

②課題とすべき内容

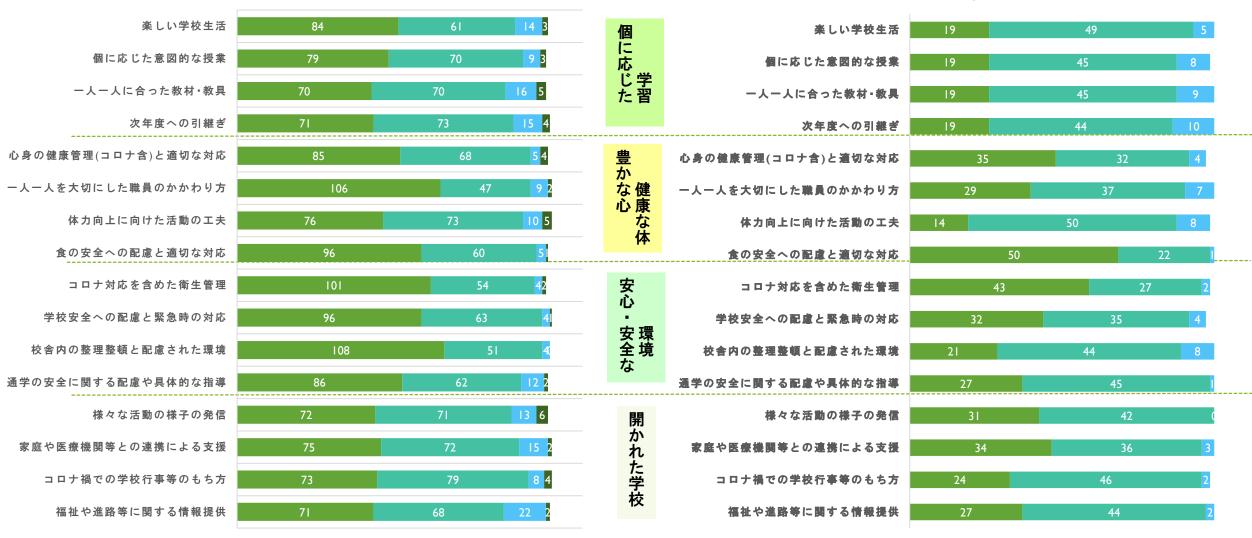
- ・昨年度より大きく評価が下がっているのは「一人一人に合った教材・教具の準備」、「家庭や医療機関との連携による支援」「学校での活動の様子の発信」、「福祉や進路等に関する情報提供」のについての4項目である。
- ・個別の指導計画に基づく授業内容については、適切であると考えている保護者は多いが、さらに一人一人に合わせた「できる環境づくり」に期待をされている。授業において、一人一人ができた喜びを十分に味わえるような教材教具の工夫をしていきたい。
- ・学校での活動の様子を教えてほしい、進路等に関する情報を知りたい、家庭と連絡を取り合い、医療機関等の他機関との連携による支援をしてほしいと願う保護者が多い。タブレットや通信等での情報発信の工夫や、日頃から家庭と協力関係を築きながら他機関とも連携した支援をしていく必要がある。

保護者

■A ■B ■C ■D

教職員

■ A ■ B ■ C



評価の考察

- ・全体的に高評価を得ている。
- ・課題としてあげると活動の発信と体力の向上についての項目にあるD評価がある。
- コロナ禍での活動制限がある中で様々な工夫を行い、活動の発信や体力向上に取り組んできたのではあるが、今後とも活動に制限のある中でも斬新なアイディアをだしあい、保護者のニーズに沿っていきたい。
- また、一人一人にあった教材教具の作成や一人一人の支援をどうすべきかなどを保護者と一緒に考え、 しっかりと引き継いで継続した支援ができるよう取り組んでいきたいと考えている。